28年9月分　　合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1．調査実施期間

平成28年9月1日～ 28年9月10日

2．調査実施方法

全国の合板工場-1に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
9月分の回答企業数は7社である。

3．判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)＝{(「増加」の評価を行った回答の割合)×2＋(「やや増加」の評価を行った回答の割合)－(「減少」の評価を行った回答の割合)×2－(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4．調査結果の概要

(1) 国産原木入荷動向　Weight. D. I.

品目		28/9月	10月	11月
入荷動向	スギ	33.3	20.0	0.0
	ヒノキ	0.0	25.0	0.0
	カラマツ	△ 16.7	△ 20.0	0.0
	トドマツ	33.3	33.3	66.7
消費動向	スギ	33.3	20.0	20.0
	ヒノキ	25.0	0.0	0.0
	カラマツ	0.0	0.0	20.0
	トドマツ	33.3	33.3	33.3
在庫動向	スギ	0.0	0.0	20.0
	ヒノキ	△ 25.0	△ 25.0	0.0
	カラマツ	△ 33.3	△ 40.0	△ 20.0
	トドマツ	△ 33.3	△ 33.3	0.0

・合板原木の入荷はカラマツが概して減少するが、スギ、ヒノキ及びトドマツは総じて増加傾向。

・合板原木の消費は総じて増加傾向。

・合板原木の在庫はスギが横ばいないし増加するが、ヒノキ、カラマツ及びトドマツは総じて減少傾向。

(2) 合板用原木購入価格動向　Weight. D. I.

品目	28/9月	10月	11月
スギ	0.0	0.0	0.0
ヒノキ	0.0	0.0	0.0
カラマツ	0.0	25.0	25.0
米マツ	33.3	33.3	33.3
北洋カラマツ	0.0	0.0	33.3
その他	0.0	0.0	0.0

・合板原木の購入価格はスギ、ヒノキ及びその他は3ヵ月連続して横ばい。カラマツ及び米マツは強含み、北洋カラマツは9月、10月の横ばいから11月は強含み。

モニターからのコメント

（原木荷動き）
・8月末の台風で入荷の遅れがあったが、現在は通常の入荷、生産に合わせての消費、在庫はほぼ横ばい。
・スギ入荷はほぼ横ばい。カラマツは在庫多く、入荷調整。トドマツはフロアー合板の増加により入荷量を増やして行く見通し。消費は、スギはほぼ横ばい、カラマツは減少予定、トドマツは増大。スギ、カラマツの在庫はほぼ横ばい、トドマツは春から夏は入荷調整していたため在庫は減少傾向。
・カラマツ増量も横ばい。カラマツ主体に消費増。在庫は全体的にオーバー。
・生産計画に添い、安定的に入荷、消費。在庫はほぼ横ばい。
・当月第三回四半期交渉も横ばいムード、樹種により多少の増減もありうる。
・ヒノキは在庫増のため、受入れ制限をする。スギは当月より受入れ制限を外す。常にフル操業中、盆休み等の連休がない限り、消費は変わらず。天候良く出材増えてくるので、在庫も増える。・

（原木価格）
・先月同様でカラマツは高値で横ばい。
・カラマツ以外は変わらず。カラマツは上昇（取り合い）。
・外材は為替変動で価格が上下している。国産カラマツは、円高と荷余り感で価格は弱含み。
・変化なし。
・消費以上に出材が増えてくると思われる。市場価格は下がっているが、合板用原木価格は維持していきたい。

28年9月分　　合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

４.調査結果の概要

(1) 生産動向　Weight.Ｄ.Ｉ.

品目		28/9月	10月	11月
生産動向	構造用(9mm)	33.3	20.0	20.0
	〃 (12mm)	28.6	33.3	16.7
	〃 (15mm)	28.6	33.3	16.7
	〃 (24mm)	42.9	50.0	16.7
	〃 (28mm)	28.6	33.3	16.7
出荷動向	構造用(9mm)	50.0	20.0	20.0
	〃 (12mm)	57.1	33.3	16.7
	〃 (15mm)	28.6	16.7	16.7
	〃 (24mm)	57.1	50.0	33.3
	〃 (28mm)	57.1	33.3	16.7
在庫動向	構造用(9mm)	△ 50.0	0.0	0.0
	〃 (12mm)	△ 57.1	△ 33.3	△ 16.7
	〃 (15mm)	△ 57.1	△ 16.7	0.0
	〃 (24mm)	△ 57.1	△ 33.3	△ 16.7
	〃 (28mm)	△ 57.1	△ 33.3	0.0

・合板の生産及び出荷は全品目で3ヵ月連続して増加。中でも9月は大きく出荷が伸びる。

・合板の在庫は全品目で9月の大きな減少が、一部を除いて10月、11月も減少。

(2) 構造用合板出荷価格動向　Weight.Ｄ.Ｉ.

品目	28/9月	10月	11月
構造用(9mm)	66.7	40.0	0.0
〃 (12mm)	57.1	33.3	0.0
〃 (15mm)	57.1	33.3	0.0
〃 (24mm)	57.1	33.3	16.7
〃 (28mm)	57.1	33.3	16.7

・合板の出荷価格は9月、10月の強含みが、11月には9mm,12mm及び15mmは横ばいとなるが、24mm及び28mmはなおやや強含み。

モニターからのコメント

（合板荷動き）
・生産はほぼ横ばい。台風のため道路の寸断でトラックが集まらなかったが、現在は片側通行などで復旧し、トラックが集まるようになった。8月末、出荷出来なかったものを9月に出荷するため在庫は全品目減る。
・在庫少なく、欠品ある。引合い多く、納品に時間がかかっている。
・各品目、生産すると2～3日で出荷するのが現状。構造用全体に不足すると思う。
・少量生産につき変化なし。
・生産計画に応じ、稼働日数増、フル生産。受注に応じ集荷は増加傾向を継続。在庫は全品種減少。
・在庫量、製品の荷動きに合わせての生産。先月同様に12mmネダノンともに引合い強く、荷動き活発、生産状況に合わせた出荷となる。在庫は徐々に減ってきており、増える状況にはない。

（合板価格）
・9月値上げするが、受注残があるため、値上げした分までは行かない。
・上昇傾向強い。ある程度まで行けば横ばいか。
・在庫不足で上昇。
・変化なし。
・8月後半、多少の変動あるも現状止まり傾向。
・九州と本州との価格差が広がったため出荷価格を調整。